

学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 令和5年3月22日

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働



令和4年度 東大阪市教育フォーラム

～ 意識が変わる 授業が変わる 子どもが変わる ～

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンデマンド開催のみになりましたが、今年度は、1月28日(土)に東大阪市立勤労市民センター(ユトリート東大阪)にて、集合開催しました。そして、3月10日(金)までオンデマンド配信も行い、初めてのハイブリッド開催となりました。多くの方々にご参加いただき、本市の学校教育における重点的な取組みと、その成果と課題について共有することができました。

【第I部】

①<表彰式>「TRY KAP」表彰式

②<実践報告等>「ICTを活用した各学校の取組みの充実に向けて」

参加者の感想

- 子どもたちが、課題を自分ごととしてとらえ、自分たちにできることをたくさん考えて発表する姿に感動しました。(①について教職員より)
- 学校の取組みはとても良いと感じました。特に ICT 活用で感想文などの量が増え、自分の考えを表現できる子どもが増えたことは素晴らしいです。紙と鉛筆、手書きにこだわらないことにより、書字が苦手な子どもたちも自信を持ち学習意欲の向上につながると思います。ぜひ多くの学校で広まってほしいです。(②について保護者より)



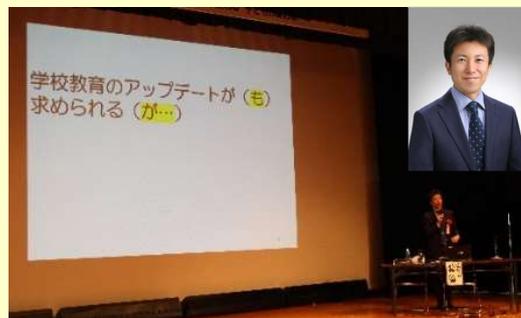
【第II部】

文部科学省初等中等教育局 学校デジタル化プロジェクトチームリーダー 武藤 久慶 様による講演

教育改革の背景にある5つのメガトレンドやデータから見える日本の教育と社会の状況をもとに、なぜGIGAスクール構想の実現が必要なのかということについて、令和の日本型教育と結びつけて大変わかりやすくご講演いただきました。

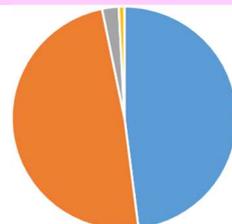
参加者の感想

- とても楽しく講演を聞かせていただきました。教員として勉強になったのはもちろんのこと、当日参加された保護者方も「親として聞いていてとても勉強になった」との感想を聞いています。(教職員より)
- 現代社会の状況を踏まえて、タブレットの活用の必要性や有効な使い方について改めて考える良い機会になりました。(教職員より)
- 東大阪市が教育現場でのICT活用に力を入れていることがよく伝わり勉強になりました。(保護者より)



本日のフォーラムはいかがでしたか？

- とても満足した 48%
- 満足した 49%
- やや満足できなかった 2%
- 満足できなかった 1%



巡回相談・巡回指導を行っています



『東大阪市立障害児者支援センター（レピラ）』に協力いただいている事業です。

	巡回相談	巡回指導
事業の概要	東大阪市立障害児者支援センター児童指導員が、園児・児童・生徒の学校園での様子（授業・保育等）を観察し、学校園における指導や子どもの発達障害に係る特性をふまえた個別の支援内容や環境づくり等について学校園や保護者と共に考え、助言を行う事業です。 また、学校園の支援体制の見直しや、対象の子ども支援のみならず、他の子どもたちへの支援の手立てを探るきっかけとするなど、「先生方への支援」も目的の1つとしています。	東大阪市立障害児者支援センターの理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)が肢体不自由や言語面に課題のある園児・児童・生徒が学校園生活を円滑に過ごせるよう、生活介助や機能訓練面における支援方法について学校園に指導助言を行います。 この巡回指導は、就学前及び就学後の一貫した指導を行うため、定期的・継続的な制度として行っています。
対象	発達障害の診断を受けている園児・児童・生徒	主として肢体不自由のある園児・児童・生徒
回数	計3回（申し込み年度2回、次年度1回）	年間1～2回
内容	【20分間の観察】 通常学級、支援学級等本人の課題がよりわかる場面で設定 【50分間の相談・指導助言】 個別の連絡票と参観の様子を基に具体的な支援についての助言	【45分間の協議・指導助言】 PT,OT,STが教職員、保護者などから相談を受け、身体の状態の確認等を通して訓練方法等について指導助言を行う。 【指導例】 ・姿勢保持のための体幹トレーニング方法 ・箸をもてるように手の機能訓練方法 ・絵カードを使用した言語訓練方法

令和4年度「SDGs ジュニア フォーラム」で上小阪中が金賞を受賞！

令和5年2月12日（日）、「SDGs ジュニア フォーラム」が、大阪府教育センターで開催されました。

この取り組みは、「2025年日本国際博覧会協会教育プログラム」を活用し、実社会における課題の解決に向けて探究的な学習に取り組み、その成果を普及する「わくわく・どきどき SDGs ジュニア プロジェクト」の一貫として、大阪府教育委員会が主催し、今年度は大阪府下で35校の中学校が参加しています。

本市からは上小阪中学校がこの取り組みに参加し、一次審査を通過した上小阪中学校を含む7校が「SDGs ジュニア フォーラム」に出場しました。



発表テーマは「バーチャルメタバース空間～come true the world～を実現するために」でした。

審査の結果、この日に発表した7校のうち、1校にのみに与えられる金賞を見事受賞しました。

その功績を称えられ、3月2日に野田義和市長より東大阪市教育委員会表彰を授与されました。

また、3月18日には大阪府の代表として、大阪大学 SSI (SOCIAL SOLUTION INITIATIVE) シンポジウムに参加し、他府県や他国の中高生と交流する場に参加しました。

